



おかげさまで 2012年度グローバル学生交流も大成功！！

グローバル学生交流とは…

山口県立大学が、学術交流協定を締結している中国・曲阜師範大学、韓国・慶南大学校から学生を招聘し、学内外での交流を図りながら学生の異文化体験や、地域の国際化に向けて実施している事業です。

毎年6月末～7月の約3週間にわたり開催。今年度は6月23日～7月14日まで留学生が山口に滞在し、さまざまな方と交流を深めました。

→P.2～P.3で特集！



平素、本学の国際交流事業へのご支援、ご協力ありがとうございます。

さて、この上半期の活動報告としてニュースレターを出させていただきます。ご覧の通り、たくさんの活動にたくさんの学生、教職員が参加してくれました。毎年開催するグローバル学生交流事業のようなものもあれば、山口 EU 協会主催の「EU in Japan ロードショー」のような突発的なイベントもありました。留学生が中心となる地域交流と交通安全指導という活動もあれば、各部署の職員が中心となる職員向けの英語研修もありました。また、学長をはじめとする多くの教職員が参加し、海外へ学生を派遣するための危機管理研修も開催されました。ともかく、本学の国際交流事業がとても充実してきており、キャンパスで勉強する人たち、働く人たち、そして周りの地域に住んでいる人たちがこれらの事業を通じてますます国際人になっていく様子を見ていると大変うれしく思います。

後期にも事業をたくさん企画していますので、ご期待ください。

国際化推進室長 シャルコフ ロバート



ニュースレター目次

- 1 ごあいさつ・目次<P1>
- 2 2012 年度グローバル学生交流事業<P2・P3>
- 3 山口警察署による、留学生の交通安全指導<P4>
- 4 山口県立農業大学校との交流.....<P4>
- 5 EU 欧州駐日連合<P4>
- 6 海外語学・文化研修、交換留学派遣出発式<P4>
- 7 JEES 奨学金受給者に、留学生のエフラインさん<P4>
- 8 2012 年度夏季海外語学・文化研修<P5>
- 9 教員交流並びに日本語 TA の帰国報告会.....<P5>
- 10 職員向け英語研修を開催<P6>
- 11 交換留学生(～2012 年度前期)が帰国<P6>
- 12 国際化推進室からのご案内<P7>

2012 年度 グローバル学生交流事業

6月23日から7月14日までの約3週間にわたり、グローバル学生交流が開催されました。今年度は中国・曲阜師範大学から留学生15名と引率教員1名並びに韓国・慶南大学校から留学生10名と引率職員1名を受け入れました。

今年度は、本学の教養科目「国際交流a」の履修生と共に、山口の文化と歴史をテーマに萩市や山口市内の神社仏閣を訪ねて国際交流を実践することができました。また、学部学科交流も、各学部が主体となって企画を行い、学部ごとの特徴を活かした交流活動ができ、今年度はよりアカデミックなグローバル学生交流事業となりました。

【2012年度グローバル学生交流 のプログラム】

	6月23日(土)	6月24日(日)				
			(午前) 昼食 (午後)	《入国》 曲阜 下関港 【8:30着】	到着後	国際交流a Activity
				慶南 下関港 【8:00着】	移動	
プレイベントテスト 【C31・C32・C34】						
6月26日(月)	6月26日(火)	6月27日(水)	6月28日(木)	6月29日(金)	6月30日(土)	7月1日(日)
大学歓迎行事 【大会開催】 9:30-10:30 オリエンテーション 10:30-12:00	日本語講義 9:00-11:45 【C12・D23】	日本語講義 9:00-12:00 【C11・C34】	日本語講義 9:00-12:00 【F111・F112】	日本語講義 9:00-11:45 【C11・C22】	国際交流a Activity	フリー(宿舎)
プレイベントテスト 14:30-16:30 キャンパスツアー 歓迎パーティー 18:10-20:00	企業訪問 マツダ工場見学 13:30-15:00	国際交流a Activity	フリー	学部学科交流 <社会福祉学部>		
7月2日(月)	7月3日(火)	7月4日(水)	7月5日(木)	7月6日(金)	7月7日(土)	7月8日(日)
日本語講義 9:00-12:00 【A32・D14】	日本語講義 9:00-12:00 【C12・D23】	日本語講義 9:00-12:00 【C11・C34】	日本語講義 9:00-12:00 【F111・F112】	山口伝承センター 10:00-12:00	ホームステイ	ホームステイ 17:00までに集合開始
学部学科交流 <看護栄養学部>	日本文化体験 (茶道) 【和室】	国際交流a Activity	中国語・韓国語 授業参観 14:30-16:00 【C31・C32・C33】 【C34・A33・A34】	フリー ホームステイ 宿舎へ迎え		
7月9日(月)	7月10日(火)	7月11日(水)	7月12日(木)	7月13日(金)	7月14日(土)	
日本語講義 9:00-12:00 【A32・D14】	日本語講義 9:00-12:00 【C12・D23】	日本文化体験 (着物) 9:30-11:30 【和室】	学校訪問 防府高校	スピーチコンテスト 9:30-11:30 修了式 11:30-12:00 【A32】	《出国》 曲阜 下関港 【12:00発】	
学部学科交流 <国際文化学部>	日本文化体験 (華道) 14:30-16:00 【C11】	国際交流a Activity	フリー	フリー 《送別パーティー》 18:10-20:00	慶南 下関港 【19:00発】	

■歓迎パーティー

韓国・中国の学生が出し物を披露。



■日本文化体験 (華道)

それぞれの個性が光っていました。



■学部学科交流 (国際文化)

言葉遊びについて習いました。



■徳地・串地域交流

一緒に料理を作りました。



■日本文化体験 (着物)

浴衣でおめかし。



■防府高校訪問

みなさん真剣なまなざしです。



■日本語講義

初級・中級クラスに分かれて。



■日本文化体験 (茶道)

緊張の連続!



■送別パーティー

いよいよお別れ。また来てね!



～スピーチコンテストより～



初級の部: 優秀賞 リ ドウ 曲阜師範大学

みなさん、こんにちは。私のスピーチのテーマは「日本での思い出」です。今日ここでこのスピーチができることが、とっても嬉しいです。

この短期留学の三週間で、私はいろんなことを習ったし、たくさんすばらしい思い出をつくりました。

しずかさ、きれいさは私が山口県に来て最初のイメージです。あとの三週間で、私はこの活動の意義をもっと深めました。この間、私は日本の風土や習慣を体験したり、日本人らしさを学び、豊富な日本文化を感じたりしました。そして、山口県のとってもきれいな景色を見ました。それから、日本の学生や中国の学生と一緒に交流し、友達になることができ、本当に嬉しかったです。毎日の授業は私に日本の大学生の学習生活を知らせてくれて、日本語の能力もだんだんあがってきました。ホームステイの二日間、ホストファミリーのおとうさんとおかあさんとおばあちゃん三人は、とっても親切で、やさしい人でした。彼らは私にとってもよくしてくれ、私は本当に感動しました。

この三週間の短期留学の活動は一生の珍しい思い出になると思います。もし将来このようなチャンスがあったら、私はぜひ参加したいと思います。

以上です。本当にありがとうございました。



グローバル学生交流の集大成「スピーチコンテスト」では、それぞれが3週間の思い出や、自分の思いを聞かせてくれました。一部ではありますがご紹介します。



中級の部: 最優秀賞 リ ジジュ 曲阜師範大学

日本に来て僅か3週間。毎日を楽しく過ごした。東京と比べれば山口市は小さな町だと言われるが、この町を通じて、いろいろな感心と感動させられるところが発見できる。そこで、興味深い三つのことを話したいと思う。

1. 省エネルギー

日本に来て始めて驚いたのが町のどこでも注意の張り紙が張ってあることである。冷房のコントロールのそばにもあれば、トイレの壁にもある。そして、ゴミも細かく分けられている。校舎の中で瓶と缶のゴミ箱は7つもあって、古紙も上質紙から折り込み広告に至るまで分けられている。一見ややこしいけれど、みなさんがちゃんと守れば、居心地いい環境が作れると思う。そして、節約と収集を通じて、エネルギーの価格の高騰と欠乏が避けられ、地球にやさしい環境が作れると思う。

2. 人への思いやり

サービス業者の思いやりに心うたれた。岩崎チェーン店で家族に化粧品を買うとき、私は男子なのでけっこう悩んでいた。しかし、店員さんが迷いを察して、ブランドごとにひとつひとつ説明してくれて、その結果、お気に入りの商品をようやく買うことができた。

3. 自然と調和する美しい山口市

テキストに言う通り、日本は山が多い国である。山口市は緑づくめと言っても、過言ではないと思う。山に隠れ、挟まれ、飾られている山口市は鉄筋コンクリートしか見えない都市よりよほど美しいと思う。道端にきれいに剪定された並木と川沿に咲いたさまざまな草花とあいまって、自然に恵まれた山口市が生まれた。河川敷公園に行ったとき、思いがけない景色が目の前に飛び込んできた。小さな黄色の花と紫の花に綴られている芝生の景色は

まるでオランダの風車の風景みたいだと思った。山口大学の七夕文化祭から家へ戻る途中、壮大でうわしい夕焼に出会った。私は夕日が遠山の山頂を囲んでいるもやに映ったシーンを見て、「雨降らぬ 綿雲と斜陽 夕焼だ」と心を打たれた。

最後に、このありがたいチャンスを与えてくださった日本人と中国人の先生に礼を申し上げたいと思っております。「どうもありがとうございます。」

この交流活動がこれからも続くようにと心からお祈りします。



【スピーチコンテスト結果】



最優秀賞

- ★初級の部
キム ヒョンヒ (慶南大学校)
- ★中級の部
リ ジジュ (曲阜師範大学)

優秀賞

- ★初級の部
リ ドウ (曲阜師範大学)
- ★中級の部
チン シン (曲阜師範大学)

審査員特別賞

- ★中級の部
ソン ジュンジュ (慶南大学校)
- セツ ギョクケイ (曲阜師範大学)

ユニーク賞:

- ★初級の部
シュ ギョクケイ (曲阜師範大学)
- ★中級の部
チョン ヒョンウ (慶南大学校)



YPU 学生の声 ～グローバル学生交流に参加して～

- ・お互いに積極的に話しかけ、交流した。
- ・企画運営したプログラム以外でも交流出来た。
- ・共通な話題を見つけ、異文化交流が出来た。
- ・プログラムに参加して、たくさんコミュニケーションがとれた。
- ・年齢が近くて、話しやすい話題が多かった。
- ・お互いについて興味を持てた。
- ・会話する機会がたくさんあった。
- ・ペアをつくることにより、より深い交流ができた。



山口警察署による、留学生の 交通安全・防犯指導

4月27日、山口警察署交通課より、留学生の交通安全と防犯についてご指導いただきました。長期留学生や交換留学生を含めて、総勢18人の留学生が参加してくれました。今回は第一部を地域共生センター駐車場にて、実地教習として自分たちの自転車で、安全な乗り方や曲がり角での一時停止など、交通ルールの指導を受けました。

第二部は、本館A32教室に移動して、「なぜ自転車事故が起こったか」というビデオを見せていただき、如何に事故を防ぐのかを学びました。最後に、戸締まりや夜間の注意など防犯についても話をいただきました。

また、参加出来なかった留学生に日を改めて集まってもらって、前述のビデオをみてもらい、交通安全指導で配った安全のためのテキストを配布しました。



EU 駐日欧州連合 代表部広報部長による講演会

6月4日、山口県立大学 D-14 教室において、EU 駐日欧州連合代表部広報部長ルディ・フィロン氏により、「EU の現状」と題して講演会が開かれました。講演会に先立ち、EU の大型プロモーションバスが本学を訪れ、EU および通貨ユーロのプロモーショングッズの配布などの広報活動が行われました。



山口県立農業大学校との交流

平成24年7月23日(月)、午後から山口県立農業大学校との国際交流会を開催しました。

到着すると県立農業大学校の1年生29名が出迎えてくれました。本学からは中国からの留学生3人と韓国からの留学生1人の総勢4人で参加しました。まず、県立農業大学校から大学の紹介をしていただきました。この農業大学校は、園芸学科に3コースと畜産学科に2コースを有していて、それぞれの学生が5分ずつのような事を学んでいるかを紹介していただきました。

園芸学科には、野菜経営、花き経営、果樹経営の3つのコースから成り、畜産学科は、酪農経営と肉用牛経営の2つのコースで構成されていることが分かりました。学生達が朝の早くから牛のお世話などしながら、夏休みを返上して収穫などのカリキュラムを実践していることが非常に印象的でした。

次は、県立大学の留学生が自国の食文化や農業について、約10分ずつのプレゼンを行い、質問コーナーを設けて、互いの疑問や聞きたいことを質問して交流を深めました。最後に農業大学校の学生から留学生にきれいな手作りブーケや取れたれの野菜がプレゼントされ、留学生も帰路につきました。

海外語学・文化研修、交換留学 派遣出発式を開催。

7月17日、平成24年度「夏季海外語学・文化研修」34名及び、「交換留学生」6名、「日本語TA」2名の派遣出発式を開催しました。

出発式では、江里健輔学長からの激励の言葉を、皆が真剣な眼差しで受け止めていました。また学長より、学生それぞれに派遣証書が授与されました。



【研修・交換留学の日程】

■夏季海外語学・文化研修
※研修済。右頁にて報告。

■交換留学

- *カナダ・ビショップス大学 (留学2名、TA1名)
派遣期間/2012.9~2013.4
- *フィンランド・ラップランド大学 (留学2名)
派遣期間/2012.9~2013.5
- *アメリカ・センター大学 (留学1名、TA1名)
派遣期間/2012.9~2013.5
- *スペイン・ナバラ州立大学 (留学1名)
派遣期間/2012.9~2013.6

JEES 奨学金受給者に、留学生のエフラインさんが選ばれました！

JEES 奨学金 (日本国際教育支援協会) の受給者に、本学の文化創造学科1年のビジャモール・エレロ・エフラインさんが選ばれました。

エフラインさんは6月25日(月)に、東京大学駒場キャンパスで開催された平成24年度 JEES 奨学金受給者証書授与式並びに奨学生交流会に参加されました。当日はエフラインさんの他に、10カ国から日本に留学している大学生及び高等専門学校生計12名が出席しました。

主催者からは、平成24年度は合計で107名の留学生に奨学金を支給されることが説明され、理事長より一人一人に受給証書が授与されました。その後の交流会では、奨学生からの自己紹介、日本での留学にあたっての期待や将来の抱負などが語られました。

エフラインさんは、当日の様子の報告と共に、「今後日本語教師になることをめざし、頑張って学んでいきます。」と、目を輝かせて話してくれました。



(エフラインさんは、上列の左から3番目)



2012 年度夏季海外語学・文化研修 <韓国・中国・カナダ>

■韓国研修【慶南大学校】

2012年8月4日～8月24日

参加学生：10名

引率：尾崎康一 主事（総務グループ）



.....松原なみほ（国際文化学部国際文化学科3年）

韓国研修は慶南大学のプログラムであるグローバルハンマに参加する形になる。韓国に行くとすぐクラス分けが行われ、平日の午前中はそのクラスで韓国語の授業を行い、午後は韓国文化体験を行った。文化体験は、扇子や凧を作ったり、韓国伝統楽器を演奏したり、韓国武道のテコンドー体験や、伝統衣装チマチョゴリを着た。

慶南大学のプログラムには県大生だけでなく、日本の他の大学生や、中国、台湾、ロシア、香港、インドネシア、モンゴル、など様々な国から参加し、非常に国際色豊かなプログラムであった。そのため中国やロシアの人と韓国語で話すというグローバルな体験をすることもできた。

このプログラム中はトウミと呼ばれる韓国人学生チューターが様々な場面で私達をお世話してくれた。

■中国研修【曲阜師範大学】

2012年8月25日～9月19日

参加学生：9名

引率：松田和也 グループリーダー
（生活支援グループ）



.....後藤美由紀（国際文化学部国際文化学科3年）

今回の研修は3週間という短い期間ではあったが、本当に多くのことを学ぶことができた。語学面においては、自分の語学力不足をひしひしと感じた。相手の言っていることもすんなり聞き取れず、また理解できたとしても、自分の伝えたいことが言葉にならず、もどかしい思いをした。しかし言葉の壁はあっても、現地学生とすぐに仲良くなれて、一緒にご飯を食べたり遊んだり楽しい時間を過ごせた。間違ふことや伝わらないことを恐れずに積極的に話しかけることが大切であると感じた。少しでも言葉の壁をなくすために、中国語の勉強をさらにがんばりたい。

また語学面だけでなく、文化や社会の面でも様々な中国の姿をみることができた。民謡や太極拳の授業、土日の観光を通して文化を学ぶことができたし、街に出かけたり、現地の様子を目にすることで、中国の生活を肌で感じた。日本と違うことが多く、カルチャーショックを受けることもあったが、それも貴重な体験として経験することができてよかったと思う。実際に中国に行ってみなければわからなかったこと、知らなかったことがたくさんあった。

今後は、この研修の経験をよいステップアップとして、語学力向上と文化や社会等の理解に努めていきたい。

■カナダ研修【ビショップス大学】

2012年9月1日～9月24日

参加学生：10名

引率：古別府 ひづる 准教授
（文化創造学科）



.....松浦裕之（国際文化学部国際文化学科3年）

大変だったことは飛行機が悪天候で遅れて乗り換えの便に乗れなかったことです。空港で1晩過ごしました。今考えるとおもしろい経験をしたと思います。よかったことはこのプログラムに関係している人がとても親切だったことです。学生コンダクターがついていて学校生活をサポートしてくれました。ホストファミリーと暮らして、さまざまな異文化体験ができました。またカナダで生活する中で自分の意思を伝えようとする姿勢の大切さを学びました。

教員交流並びに日本語 TA の帰国報告会

教員交流並びに日本語 TA の帰国報告会が6月21日に開かれました。

教員交流報告では国際化推進室長のシャルコフ・ロバート教授と社会福祉学部の水藤昌彦准教授から報告がありました。シャルコフ教授は1月7日から18日にかけて米国・センター大学に滞在し、「ジェンダーと西部劇」「陶芸」「日本文化」の3講義を担当しました。一方、水藤准教授はフィンランド・ラップランド大学に3月13日から21日にかけて滞在し、「高齢と障害のある犯罪行為者の現状と課題」「刑事司法制度と福祉専門職の機能」の2講義を担当しました。両教員からは、講義の様子などについて報告がありました。

日本語 TA 報告では、カナダ・ビショップス大学と米国・センター大学に2年間滞在した、国際文化学科4年の米元花歩さんから報告がありました。日本語指導の体験などについて、エピソードを交えて語っていただきました。



職員向け英語研修を開催しました。

8月22日(水)～9月14日(金)、今年度で2回目となる英語研修を開催しました。今回は、本学で非常勤講師をしておられるアラン・クリスト先生(米国出身)を指導者としてお迎えしました。

講義の内容は、主に初対面の方との対応(自己紹介・簡単な挨拶)、留学生の対応、アドバイスの提供でした。グループで共に答えを考えて発言したり、ペアで自己紹介し合ったり、相手に質問し多くの会話につながる実践的な内容でした。英会話となると一歩下がってしまいがちですが、ペアやグループになることで苦手意識が緩和され、みんなで支え合い学び合う場となりました。

参加者は56名(延べ人数)で、同じ内容が週2回あり、都合の良い時間に多くの方に来て頂くことが出来ました。ほとんどの方が4回の全日程に参加されました。

ある職員の方から、早速学会で外国人の方に話しかけてみましたと嬉しいご報告いただきました。次年度も企画いたしますので、ぜひまた多くの教職員の皆さんと一緒に英会話を学んで行きたいと思っています。



交換留学生(～2012年度前期)が帰国。

■送別パーティーを行いました！

交換留学生8名が、2012年度前期をもって帰国しました。

7月18日には、国際文化学部会議室にて送別パーティーを行い、江里学長、長坂副学長、小田副理事長ほか、ホストファミリー、ご近所の方々、本学学生、教職員が約40名集まり、帰国する留学生たちと思いの時間を過ごしました。

学生チューターからは、ぎっしり思いのつまった色紙をプレゼントされ、留学生はとても感激していました。

【2012年前期で帰国した留学生】

2011. 10～2012. 9

- ◆エディス・プーリン
(カナダ・ビショップス大学)
- ◆ルイ＝フィリップ・アシャンボ
(カナダ・ビショップス大学)
- ◆オウ・ガケイ (中国・曲阜師範大学)
- ◆ソン・シキン (中国・曲阜師範大学)
- ◆ヘンナ＝ハンエレ・クランカラ
(フィンランド・ラップランド大学)
- ◆パク・ウヨン (韓国・慶南大学校)

2012. 4～2012. 9

- ◆ビドレッタ・ディアス・デ・セリオ・ラケル
(スペイン・ナバラ州立大学)
- ◆ハティ＝メラニー・マルガリーテ
(カナダ・ビショップス大学)

■ルイ＝フィリップ・アシャンボ

It is not the End,

but the Beginning

It's been one year since I started the YPU exchange program. This year was a success. I realized the dream that I had to come to Japan since I was 6 years old. I was able to take courses about Japan, courses on the history and culture of Yamaguchi, Japanese languages courses, and courses in Japanese traditional arts (tea ceremony, pottery and flower arrangement), and so on. I learned a lot

from these courses, but the most important thing to me about this adventure I have had is the Japanese friends I made here in Miyano. With them, I could practice my Japanese, and enjoy Japanese parties. They taught me some Japanese rules such as how to eat with chopsticks and how to make presents for my host family.

There were a lot of festivals that I could join during my stay in Japan. The university provided us with many opportunities to mix with the community. For these reasons my Japanese improved very fast. The city also offers many good traditional or family restaurants. Sometimes, I ate too much, and enjoyed these things too much...

The place, where exchange students live is convenient because it is very close to the university, so we do not have to take train or bus to go to school. All exchange students live in the same place, so I could always go count on others when I felt down or low. It was relief to sometimes be able to talk in my mother tongue or in English to my friends. The apartments are pretty and traditional. We found everything we needed to be comfortable inside the houses. I had a big room with a big closet. The house has two floors, and my room was on the second floor. The bathroom, kitchen, and living room were on the first floor.

Throughout the program, I was able to take a lot of trips around Japan. I went to Tokyo, Kyoto, Shizuoka, Fukuoka, and of course all the regions of Yamaguchi Ken. It was very interesting to see these cities that I had only seen in magazines or on TV. I took a picture with a geisha in Kyoto; I was so moved I cried. Everything was made possible with the beautiful and welcoming YPU staff. The students are also very welcoming. I can't wait to return to Japan to see them again!

■朴祐侖(パク ウヨン) 留学を終えて

どきどき緊張しながら日本に来た事が数日前のようです。とても寒かった冬が終り、蒸し暑い夏になったと思ったら、もう留学生活も終わります。本当にあっという間でした。

家族と長い時間別れて生活するのは初めだったので、留学の最初の時は寂しくて早く帰りたいと思った事もありました。でもすごく優しく、本当に娘みたいにしてくださったホストファミリー、親切でいい話もたくさん聞かせてくださった先生たち、いつも手伝ってくださった方々、一緒にいればいつも楽しかったです。優しく可愛友達がいたから、留学生活が寂しくなくなりました。本当にお世話になりました。いつも感謝しています。ありがとうございます。

留学生活でいろんなことがありましたが辛かったことも、嬉しかったことも今は全部一つの思い出になりました。今まで経験したことがないことを経験して帰国しました。

最初山口に来た時何もないし6～7時頃には大体の店が閉まり周りが暗いし交通も不便だったから本当に大変でしたが、今では山口で勉強できて本当に良かったと思っています。私が住んだ所では見るのが難しかったことをたくさん見ることができて楽しかったです。例えば、山口ではきれいな星がたくさん見れるから空を見ることが増えました。それに運がいい時は流星も見ました。ホテルも初めて見ました。とてもきれいで感動しました。山口で美しい自然と一緒に生活ができて本当に幸せでした。

韓国に帰っても山口の生活が懐かしいです。幸せだった思い出を胸にこれからも頑張ります。また山口に来ます。本当にありがとうございます。



【編集・発行】 公立大学法人 山口県立大学 国際化推進室 (桜翔館2階)

〒753-8502 山口県山口市桜島3-2-1

TEL/FAX 083-928-3413 E-mail kokusaika@yamaguchi-pu.ac.jp URL <http://www.ypu.jp/>